

英国デジタル・文化・メディア・スポーツ省と日本国総務省による 通信サプライヤー多様化に関する共同声明

1. 日英は、グローバルな戦略的パートナーシップを結んでおり、デジタルに関する幅広い課題において、長年にわたり協業してきた。英国デジタル・文化・メディア・スポーツ省 (DCMS) と日本国総務省は、本日、通信サプライヤー多様化に関する共同声明を発表し、この両国関係を拡大・強化するというコミットメントを再確認した。この共同声明は、この目標を達成するために、産業界や国際的なパートナーと密接に協力しながら進めていく取組について定めたものである。
2. DCMS と総務省は、重要な国家インフラの一部として、安全で強靱な通信ネットワークを持つことの重要性を共に認識している。通信ネットワークは、デジタル化されたデータ駆動型経済の基幹であり、通信サプライヤー多様化に関するプラハ提案 2021 に沿って、これらのネットワークを支えるデジタルインフラが安全で信頼できるものであることを確信できるようにすることが重要である。

日英通信サプライチェーン多様化協力枠組

3. この声明のコミットメントを実現するため、DCMS と総務省は、この重要な課題に対する日英協力の指針となる共同の枠組を確立した。これには、枠組内の活動を進めるための定期的な会合である、日英通信サプライヤー多様化ワーキンググループが含まれる。
4. この枠組の下、我々は、多様化を進めるためのそれぞれの政策に関する情報を共有し、より競争的で多様な通信機器の世界市場を支える環境を実現するための施策に取り組む。
5. 我々は、研究開発イニシアティブでの協力の機会を模索し、特に、相互運用可能な機器や Open RAN 等の、オープンなインターフェースの開発を加速させるための産業界のパートナー支援を検討していく。これには、産学官の専門家を集めて、情報を共有し、日英の試験設備での協業を推進することを含む。
6. また、DCMS と総務省は、より長期の視点で更なる多様化を支援する取組の重要性を認識する。そのため我々は、5 G を視野に将来の通信技術に関するそれぞれのプライオリティについて協力し、また、6 G などの技術開発を支援するために、情報を共有し、産学の専門家による共同作業を促進するための共同機会を特定することを目指す。

7. 通信機器市場の多様化を促進するプロセスは、産業界主導でなければならない。
この枠組での取組を進めるに当たって、サプライヤーの更なる多様性を支援するために、日英の通信事業者が協力する機会を促進するよう努める。

8. 我々は更に、通信機器市場のサプライヤーの多様性の欠如は、幅広い国際的ステークホルダーが協力的、協調的に取り組む必要がある問題であることを認識している。そのため、オープンで多様かつ競争力のあるグローバルな通信機器市場という目標を達成するために、幅広い国際的なパートナーと協力するという共同のコミットメントを我々は再確認する。